

## 確認テスト

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

### 高齢者に多い疾患（風邪・インフルエンザ）

1) 風邪・インフルエンザに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① (     ) 風邪の症状には、咳、咽頭痛、鼻水、鼻づまり、発熱、倦怠感、頭痛などがある。
- ② (     ) 風邪は、ウイルスによって引き起こされる。
- ③ (     ) 高齢者の場合、風邪から肺炎になることは少ない。
- ④ (     ) 風邪を治す薬がある。

2) 風邪・インフルエンザに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① (     ) インフルエンザと風邪は同じである。
- ② (     ) インフルエンザの予防法の一つとして、ワクチン接種がある。
- ③ (     ) インフルエンザ発症前と発症後3～7日間は、他者への感染の恐れが高いので外出を控える方がよい。
- ④ (     ) 筋肉痛や関節痛は、インフルエンザの症状にはみられない。

3) 風邪・インフルエンザに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① (     ) インフルエンザが流行する時期には、できる限り人ごみや繁華街などへの外出を避ける。
- ② (     ) インフルエンザのような症状が出たら、受診はせず、自宅で安静に過ごす。
- ③ (     ) 室内では加湿器を使用して、乾燥を防ぐこともインフルエンザの予防には大切である。
- ④ (     ) インフルエンザと診断されたら、他の人と交流を避け、安静にしている。

4) 風邪・インフルエンザに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① (        ) 風邪やインフルエンザに罹りやすい方は、免疫力が弱っている場合が多い。
- ② (        ) 腸内環境を改善することで免疫力の向上が期待できる。
- ③ (        ) 腸内環境が悪化している方は、下痢、便秘、ガスがよく出る、お腹がはるなどの症状があるが、腸内の善玉菌の割合が増加している場合がある。
- ④ (        ) 免疫力を高めるためには、腸内環境をよくするために食物繊維を多く食べるのが重要である。

5) 風邪・インフルエンザに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① (        ) 風邪を治す薬は開発されていない。
- ② (        ) 風邪に伴う諸症状を緩和する薬はある。
- ③ (        ) 風邪に伴う咽頭炎の炎症を緩和させるために抗生物質が処方されることもある。
- ④ (        ) インフルエンザを治すための薬は開発されていない。

6) 事例問題

介護施設に入居中のBさん(86歳男性、要介護3)の方が今朝から元気がなく、朝食も半分程度しか食べられなかった。9時の体温は、37.8℃。平熱は36℃前半。11時に再検してみると38.2℃と上昇しており、咳と鼻水がある。のども痛くて少しつらくなってきたとのこと。ここ数日、他の入居利用者の風邪が流行している。看護師にも報告はしている。この後、介護職員としてどう対応するか？

**確認テスト 解答・解説**

**高齢者に多い疾患（風邪・インフルエンザ）**

1) 解答 ①○、②○、③×、④×

〈解説〉

- ③ × 高齢者の場合、風邪から肺炎になることは多い。
- ④ × 風邪を治す薬はない。風邪に伴う発熱を下げる薬や咽頭炎の炎症を抑える薬などはあるが、風邪そのものを治す薬は開発されていない。

2) 解答 ①×、②○、③○、④×

〈解説〉

- ① × インフルエンザと風邪は違う。インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染であり、風邪はウイルスや細菌など原因菌はさまざまであり、出現する症状も表のように異なる。
- ④ × 筋肉痛、関節痛はインフルエンザの症状である。

	風邪(風邪症候群)	インフルエンザ
発熱	ないかもしくは微熱	38～40℃
主な症状	上気道症状, 鼻汁など	発熱, 筋肉痛 関節痛など
悪寒	軽い	強い
発病	ゆっくり	急激に発症
全身の痛み(筋肉痛 関節痛, 腰痛など)	なし	強い
経過	短いが長引くことあり	短い
合併症	少ない	気管支炎, 肺炎など
発生状況	散発性	流行性

3) 解答 ①○, ②×, ③○, ④○

〈解説〉

② × インフルエンザのような症状が出たら、速やかに受診する。

4) 解答 ①○, ②○, ③×, ④○

〈解説〉

③腸内環境が悪化している方は、下痢、便秘、ガスがよく出る、お腹がはるなどの症状があるが、腸内の悪玉菌の割合が増加している場合がある。

5) 解答 ①○, ②○, ③○, ④×

〈解説〉

④× いわゆる風邪薬は、咳・鼻水・鼻づまり・頭痛・発熱・のどの痛みなどの風邪の諸症状を抑える薬である。

インフルエンザウィルスの増殖を抑える抗インフルエンザ薬は使用されている。その中のタミフルは、異常行動の報告があり未成年者には仕様できない。高齢者においても、副作用を疑う症状が厚労省から出されているので、確認しておこう。

6) 解答

ご本人の体調確認はもちろんだが、まずは早めの主治医の診察の手配をする。

高齢の要介護者の風邪は若い人と違い、短時間で肺炎を引き起こすこともあるので、安静だけでなく、早めの診察が大切である。看護師と相談して、他の利用者への感染予防のため昼食は食堂ではなく、居室ですよう促す。食事の際も通常時より嚥下機能が低下する恐れもあるので、誤嚥のないように見守る。居室のベッドでの安静を促し、こまめに訪室して、体調やバイタルサインの変化に気を配り、食欲が朝より落ちる可能性が高いので、水分補給や、経口補水液の補給も検討する。

【参考文献】

- 1) 岩下馨歌里：研修用DVD安心安全ケア教育 下巻，2012.
  - 2) 介護人財育成ぶらすVol. 5，No. 7（特別編集号），2008.
- 

教材作成

有限会社ファイブアローズ 取締役 岩下由加里

※本教材は「介護研修115の問題用紙」（日総研出版）の教材を大幅に加筆修正したものである。